

個人投資家向け説明会

住友商事株式会社

2022年9月

住友商事株式会社（証券コード：8053）



Sumitomo Corporation

| Enriching lives and the world

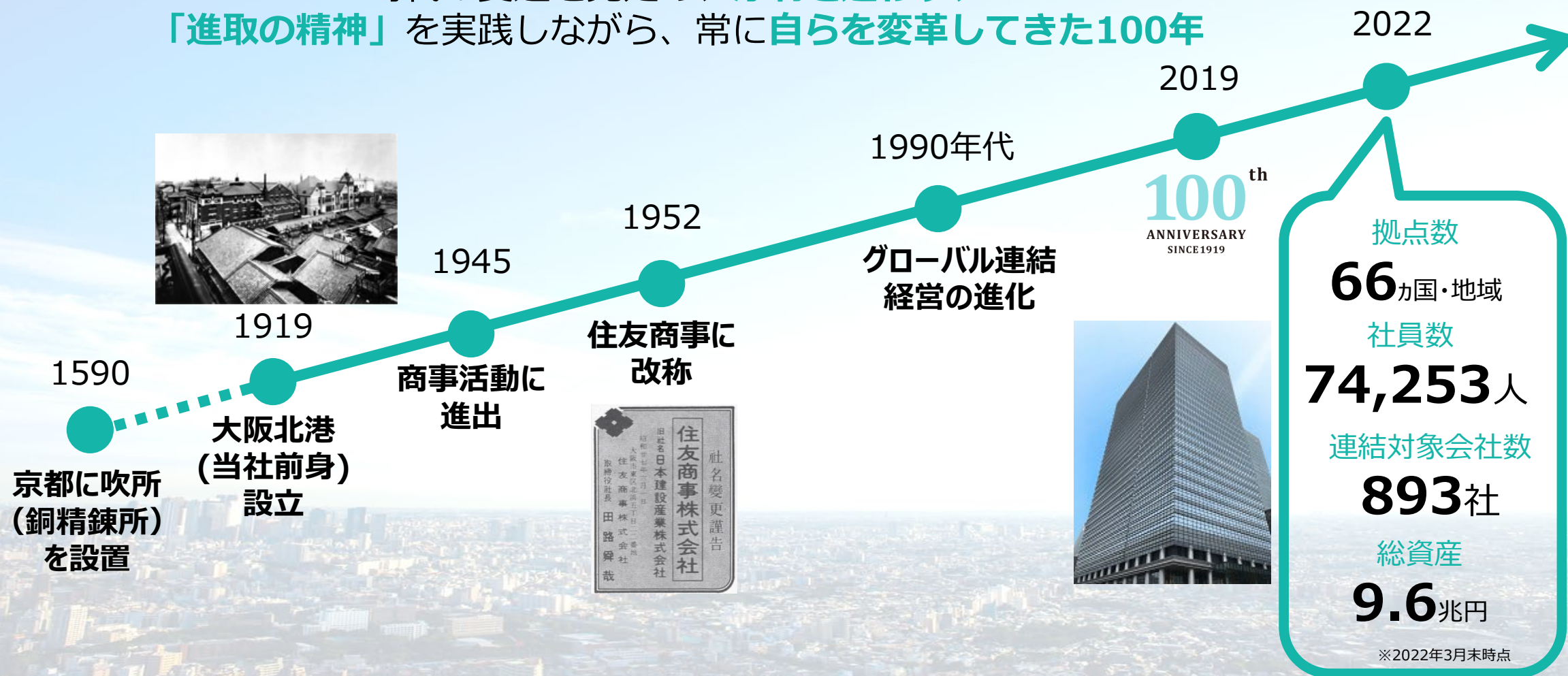
Contents

01	住友商事について	P.3
02	成長戦略（中期経営計画「SHIFT 2023」）	P.7
03	取り組み事例① （大型蓄電事業）	P. 14
04	取り組み事例② （農業関連ビジネス）	P. 21
05	業績及び配当予想	P. 29
06	最後に	P. 35

1. 住友商事について

住友商事の沿革

時代の変遷を見定め、**浮利を追わず、**
「進取の精神」を実践しながら、常に**自らを変革**してきた**100年**



事業概要

- 事業部門・イニシアチブ、国内・海外の地域組織が連携し、グローバルに幅広い産業分野で事業活動を展開。
- 「強固なビジネス基盤」と「多様で高度な機能」とを戦略的・有機的に統合することで、変化を先取りし、既存の枠組みを超えて社会課題を解決、新たな価値を創造。



金属事業部門



輸送機・建機事業部門



インフラ事業部門



メディア・デジタル事業部門



生活・不動産事業部門



資源・化学品事業部門

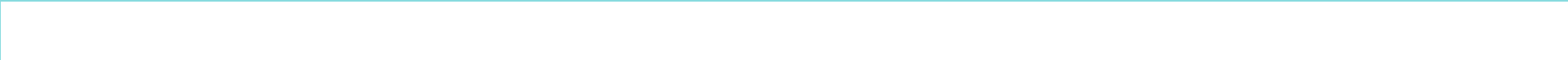


エネルギーイノベーション・イニシアチブ
2021年4月新設

会社紹介映像

【住友商事】会社紹介映像

2. 成長戦略（中期経営計画「SHIFT 2023」）



SHIFT 2023全体像

- 「事業ポートフォリオのシフト」を中核に、実効性を担保するための「仕組みのシフト」、これらを支える「経営基盤のシフト」を推進。
- 引き続き、経営資源の再配分を行いながら、より高い収益性と下方耐性の強いポートフォリオ構築を目指し、取り組みを加速。

事業ポートフォリオのシフト

（高い収益性と下方耐性の強いポートフォリオへ）

【短期】

成長投資に向けた資産入替の徹底
（バリュー実現）

【短中期】

強みを活かした収益の柱の強化育成
（バリューアップ・注力事業）

【中長期】

社会構造変化への挑戦
（シーディング）

DXによるビジネス変革

サステナビリティ経営高度化

仕組みのシフト

（実効性の担保）

事業戦略管理の強化

投資の厳選/投資後のバリューアップ強化

全社最適での取り組み体制強化

全社最適での経営資源配分の強化

経営基盤のシフト

ガバナンスの強化

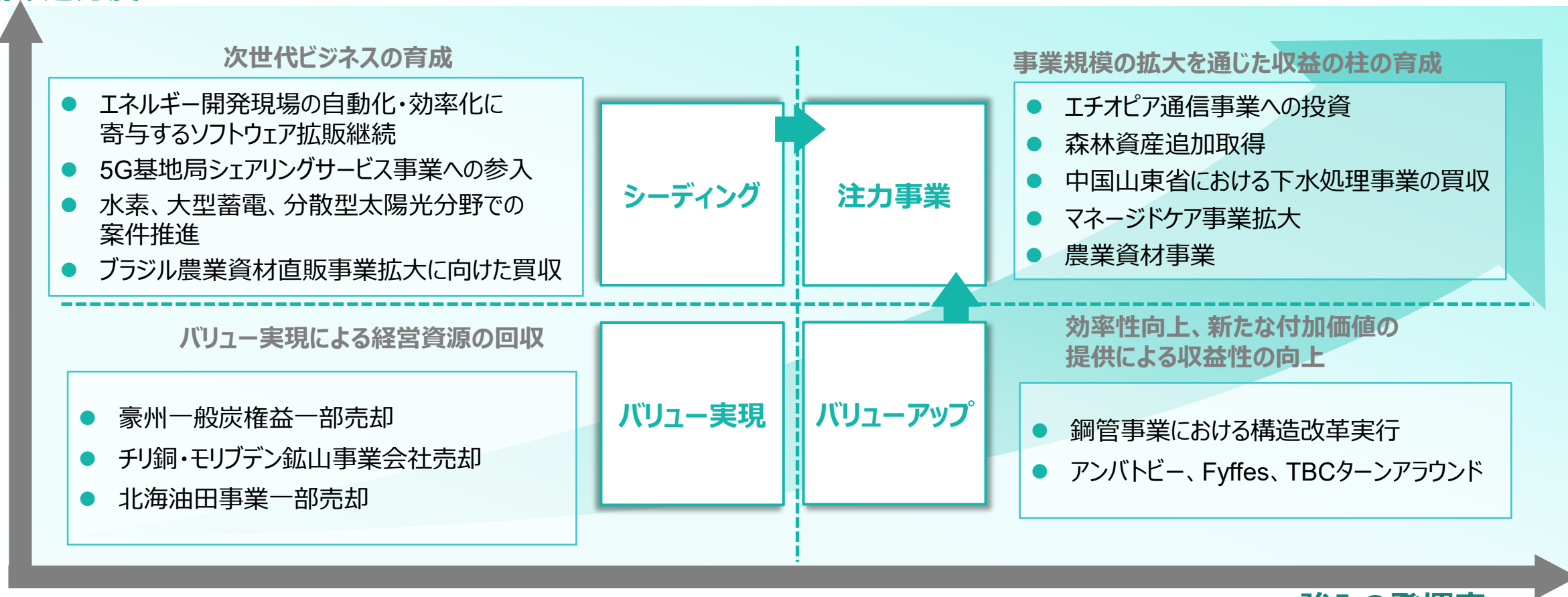
人材マネジメントの強化

財務健全性の維持・向上

3つのシフトの着実な進捗（事業ポートフォリオのシフト）①

- 「バリュー実現」を中心に約2,100億円の資金を回収。
- 「注力事業」を中心に約2,800億円の投融資を実行するなど資産入替を実施。

市場の魅力度

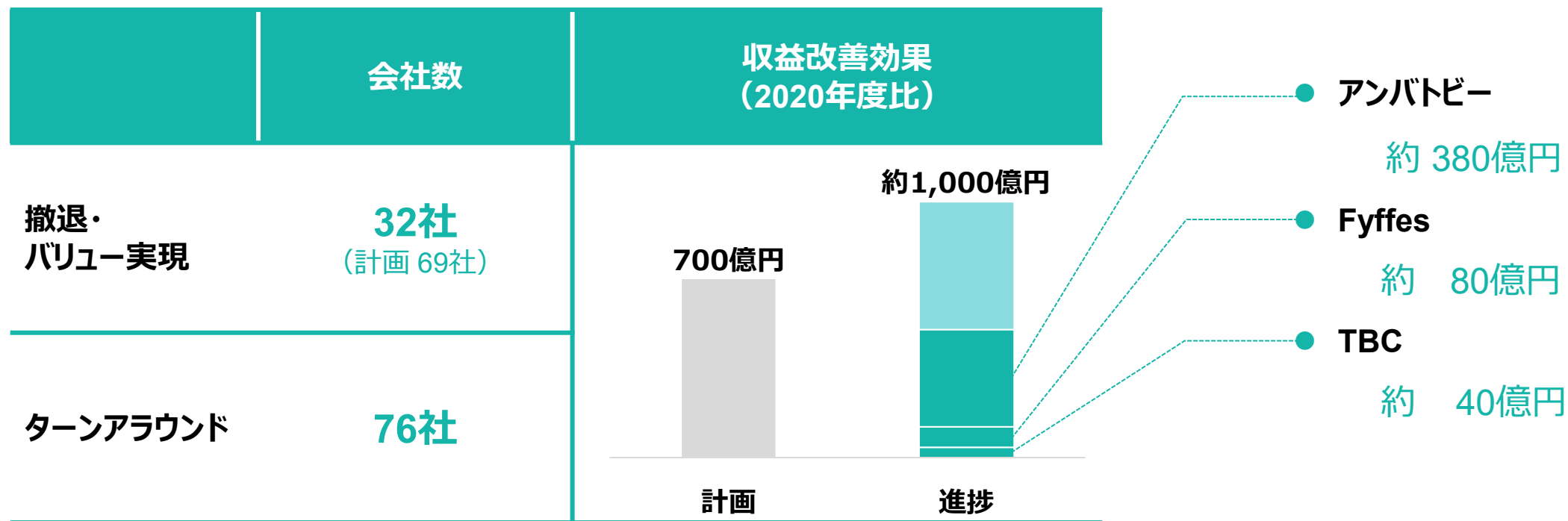


3つのシフトの着実な進捗（事業ポートフォリオのシフト）②

- 低採算事業からの撤退、およびターンアラウンドを推進し、約1,000億円の収益改善（2020年度比）。
- 主なターンアラウンド先においては、事業戦略や経営体制、オペレーションの見直し等を通じて業績を改善。

Full Potential Plan 進捗

主なターンアラウンド先と改善効果



3つのシフトの着実な進捗（事業ポートフォリオのシフト）③

- 外部環境に関わらず、さらに中長期的に利益成長を達成していく。
- 「投下資本に見合う収益力強化」と、「将来の収益拡大をリードする新たなコア事業創出」に、より一層力を入れて推進。

事業ポートフォリオのシフト

（高い収益性と下方耐性の強いポートフォリオへ）

【短期】

成長投資に向けた資産入替の徹底
（バリュー実現）

1

【短中期】

強みを活かした収益の柱の強化育成
（バリューアップ・注力事業）

2

【中長期】

社会構造変化への挑戦
（シーディング）

DXによるビジネス変革

サステナビリティ経営高度化

1 資本コストに見合う利益水準の確保

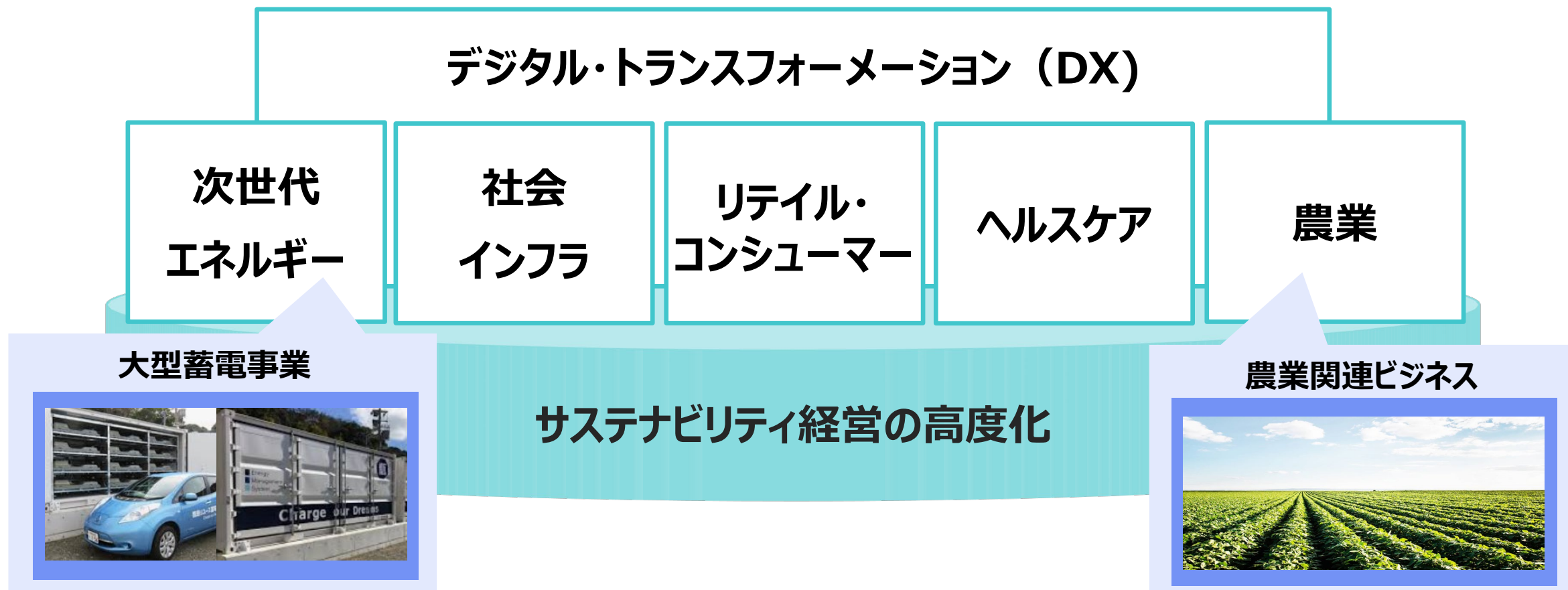
注力事業、バリューアップとともに資本コストをカバーする利益水準確保に向け、事業戦略・計画の見直しを含め、早期実現を図る。
また、特に注力事業においては、規律を効かせながら投下資本拡大による収益基盤拡大を加速していく。

2 新たなコア事業の育成

「当社の強み」「企画の遠大性」をキーワードに、各営業組織での取り組みに加え、グローバルイノベーション推進委員会などによる組織横断的な活動への支援拡大も図りながら、成長戦略テーマなどへの取り組みを推進していく。

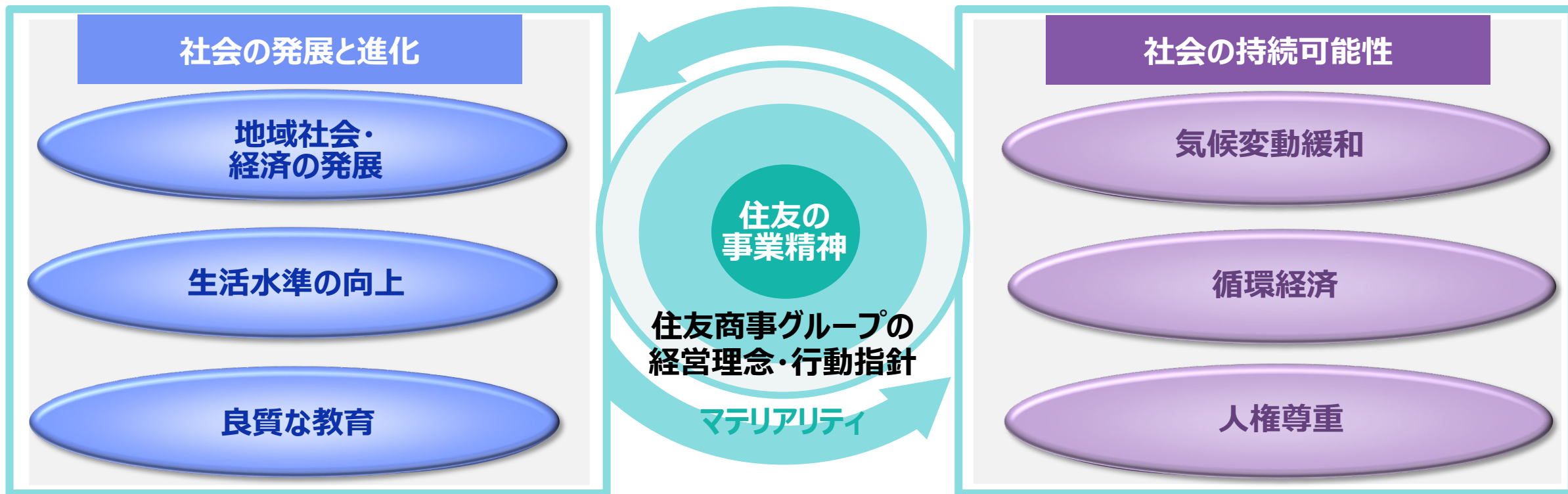
次世代成長戦略テーマについて

- 中長期視点で5つの戦略テーマを設定。
- サステナビリティ経営の高度化を土台として、DXを活用しながら、次世代の収益を牽引するコア事業に育成していく。



住友商事グループの重要社会課題

- 当社が取り組むべき6つの重要社会課題を設定。
- 「社会の発展と進化」と「社会の持続可能性」を両立・共存させていく。



- 総合商社の多様な人的リソース
- 多彩なビジネスノウハウ
- グローバルネットワーク
- 事業パートナーや取引先とのビジネスリレーション

3.取り組み事例① (大型蓄電事業)

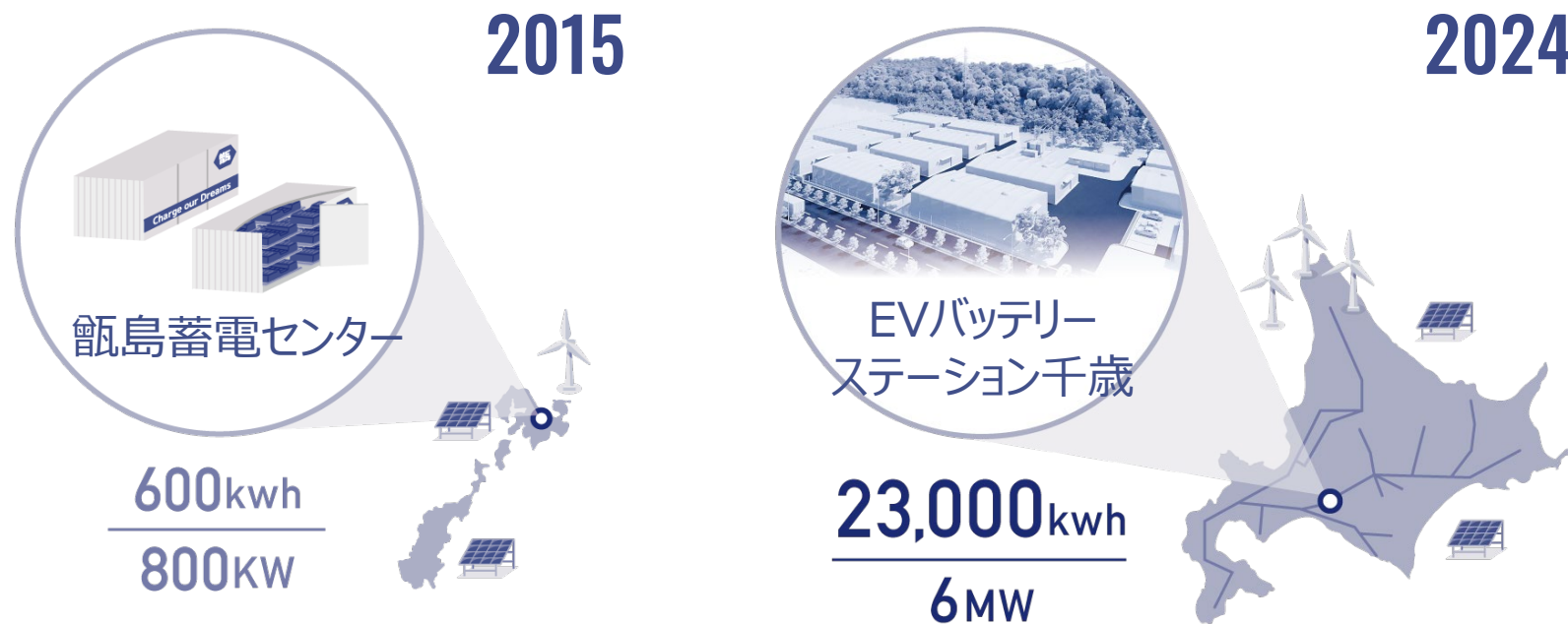
大型蓄電事業

Q：なぜ再生可能エネルギー
の導入が進まないのか？

大型蓄電事業

【住友商事】 大型蓄電事業ビジネス紹介映像

大型蓄電事業 ～ 業界のパイオニアとして、“ためる”を事業に ～



『系統蓄電事業』のさきがけ

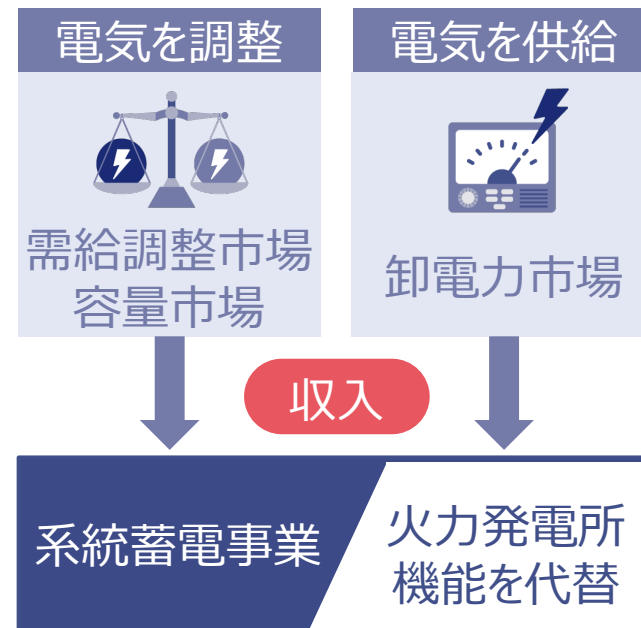
飫島

みらいの島プロジェクト

いよいよ、『新しい電力事業』が幕開け

千歳

系統蓄電事業

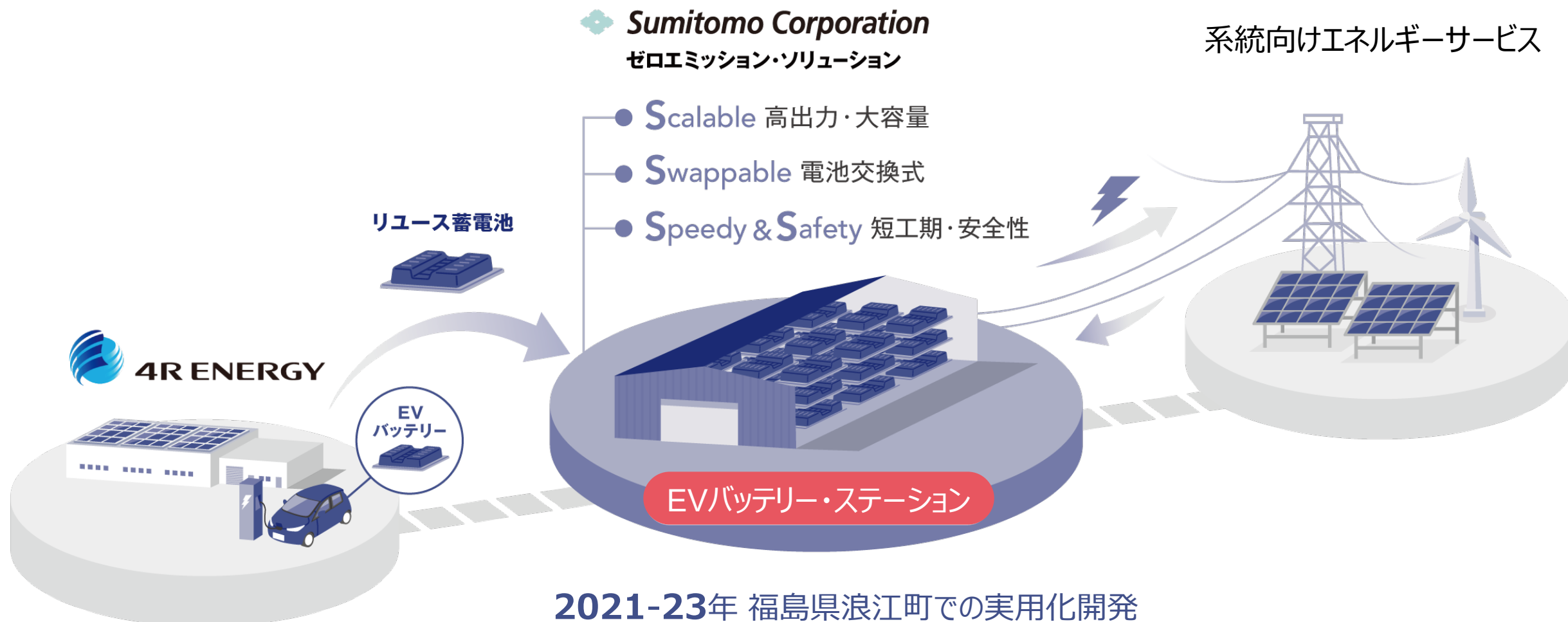


マネタイズの検証

次期中計中に、全国に
100MWの蓄電アセットを
積み上げる計画

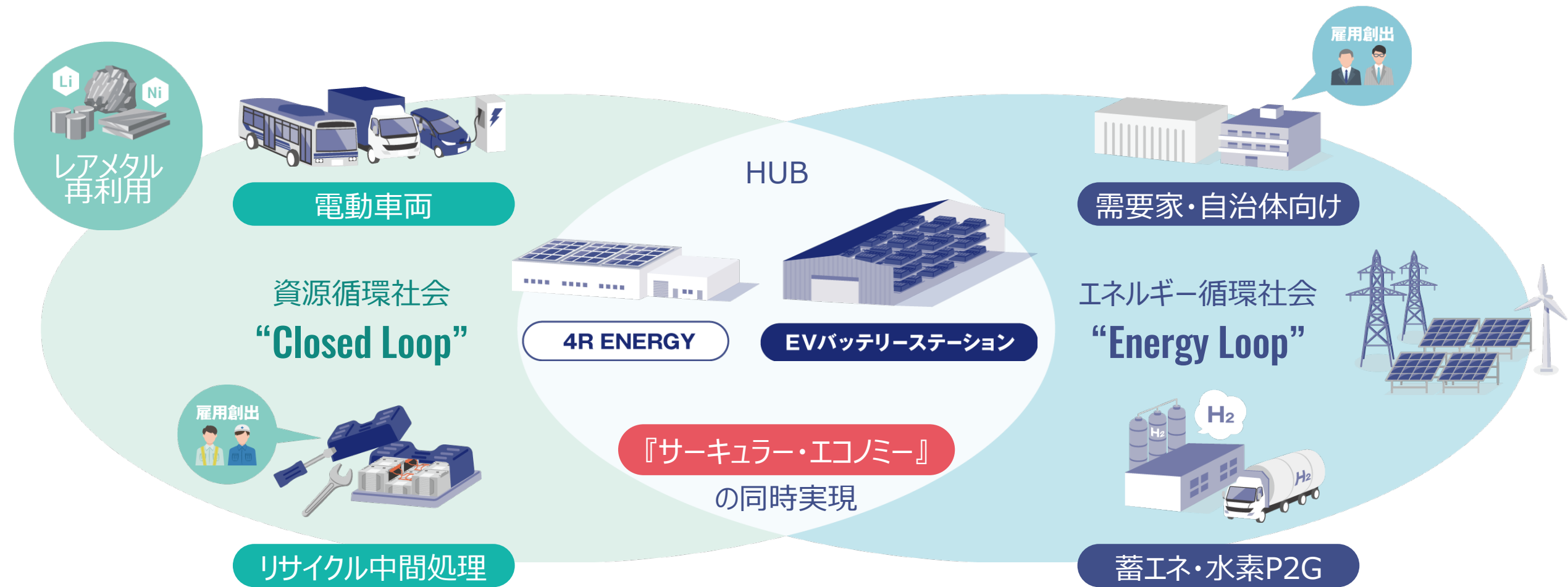
バッテリーのエコシステム構築 ～ EVバッテリー・ステーションの開発 ～

競争力のあるEV用電池をカスケード利用する『大型系統蓄電システム』の開発に成功。



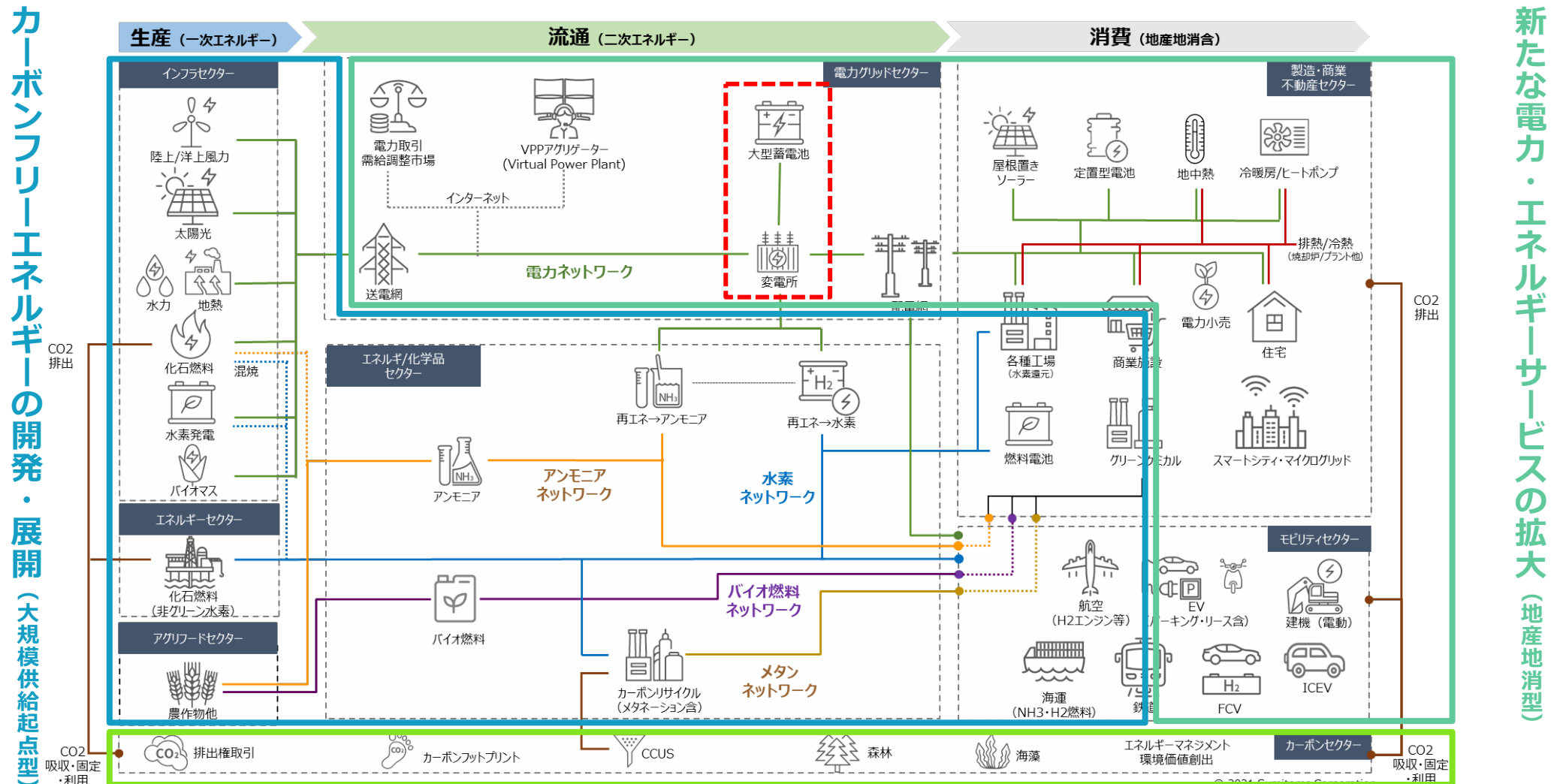
EVバッテリー循環モデルの仕組み ～ 地域のまちづくりへの貢献 ～

大型蓄電事業をハブとして、「事業を作って終わり」にしない、持続可能な仕組みづくりに着手。



(参考) エネルギーイノベーション・イニシアチブ (EII)

EIIでは、脱炭素循環型エネルギーシステム構築を目指し、3つの重点分野に取り組み中。



4. 取り組み事例② (農業関連ビジネス)

農業関連ビジネス

**Q：人口増加に対する持続可能な
農業生産とは？**

住友商事における農業に関わる取り組み

- 世界の人口増加に伴う社会課題に対して、当社の農業関連ビジネスを通じて持続可能な食糧生産に貢献。

世界趨勢
・社会課題

世界の人口増加に伴う農業に関わる社会的課題

食料の増産・効率化・安定供給

環境負荷の低減

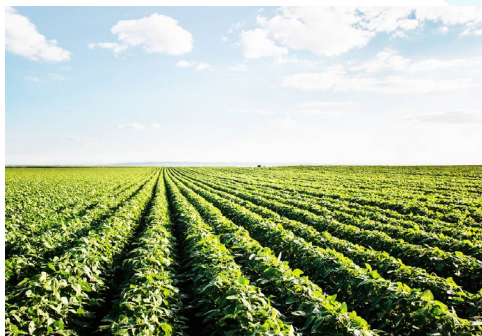
地域産業・農村振興

全体目的
・取組意義

持続可能な食料生産システムの構築

アグリ事業SBU（2022年4月新設）

当社
取り組み



- ✓ **商品・機能の拡充と地理的拡大を通じた農業資材事業の強化（注力事業）**
農薬トレード・ディストリビューション事業：農薬のトレード・加工・輸入卸売販売
農業資材直販事業：農業生産者に対する総合的サービス提供
（農薬・肥料・種子・農機等農業資材の直接販売）
- ✓ **持続可能な食料システムの実現に資する次世代ビジネス創出（シーディング）**
次世代農業・イノベーション：新技術・新潮流を捉えた新しい農業関連ビジネス開発



農業関連ビジネスの取り組み事例 -ブラジル

【住友商事】 ブラジルにおける農業関連 ビジネス紹介映像

農業関連ビジネスの取り組み事例 -ブラジル①

- 近年、成長著しくかつさらなる成長余地の大きいブラジルに注力（農産物輸出量：大豆1位、トウモロコシ2位）。

参画ヒストリー

- ✓ 農薬製造/販売：1976年に農薬製造・販売事業を行うイハラプラス社*に出資参画
- ✓ 農業資材直販：2015年に農業資材直販事業アグロアマゾニア社に出資参画
2022年にアグロアマゾニア社が同業のナチーバ社を完全買収

* 日系農薬メーカーの農薬の製造・販売

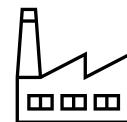
アグロアマゾニア社 事業概要



本社所在：ブラジル マットグロッソ州 クイアバ
基礎情報：設立1983年、従業員約800人、50支店
事業内容：農業・畜産資材販売／アグロのみストによる技術指導
取扱品目：農業（農薬・種子・肥料・高機能肥料）
畜産（牧草用種子、除草剤、動物薬、ワイヤー等設備、飼料添加剤）



農薬メーカー
肥料メーカー
種子生産者



技術指導
ディストリビューション



農家 4,000軒
畜産 16,000軒



農業関連ビジネスの取り組み事例 - ブラジル②

- アグロアマゾニア社は中西部を中心として支店網を拡大し、地域最大級の農業資材ディストリビューターに成長。
- ナチーバ社買収により南東部への展開も進め、今後更なる農業関連ビジネスの拡充を図る。
- ブラジル農業の持続的発展に貢献する為、全ての展開地域で社会・環境活動への取り組みを実施。



社会的価値・環境価値・経済的価値の追求



農業関連ビジネスのグローバルネットワーク

- 全世界38か国で事業を展開中。



グローバル連結人員 約2,400人

EMIACIS

- ・ イギリス
- ・ アイルランド
- ・ フランス
- ・ ドイツ
- ・ ポルトガル
- ・ スペイン
- ・ イタリア
- ・ ギリシャ
- ・ ベルギー
- ・ オランダ
- ・ ルクセンブルグ
- ・ ポーランド
- ・ チェコ
- ・ スロバキア
- ・ ハンガリー
- ・ ブルガリア
- ・ ルーマニア
- ・ ウクライナ
- ・ ロシア
- ・ トルコ
- ・ 南アフリカ

米州

- ・ アメリカ
- ・ メキシコ
- ・ チリ
- ・ エクアドル
- ・ コロンビア
- ・ ペルー
- ・ パラグアイ
- ・ アルゼンチン
- ・ ブラジル

アジア大洋州

- ・ 日本
- ・ 中国
- ・ 韓国
- ・ インド
- ・ ベトナム
- ・ オーストラリア
- ・ インドネシア
- ・ マレーシア

38か国に事業拠点

- 農薬販売
- 肥料製造・販売
- 農業資材直販
- その他（製造業等）

持続可能な農業生産に向けて

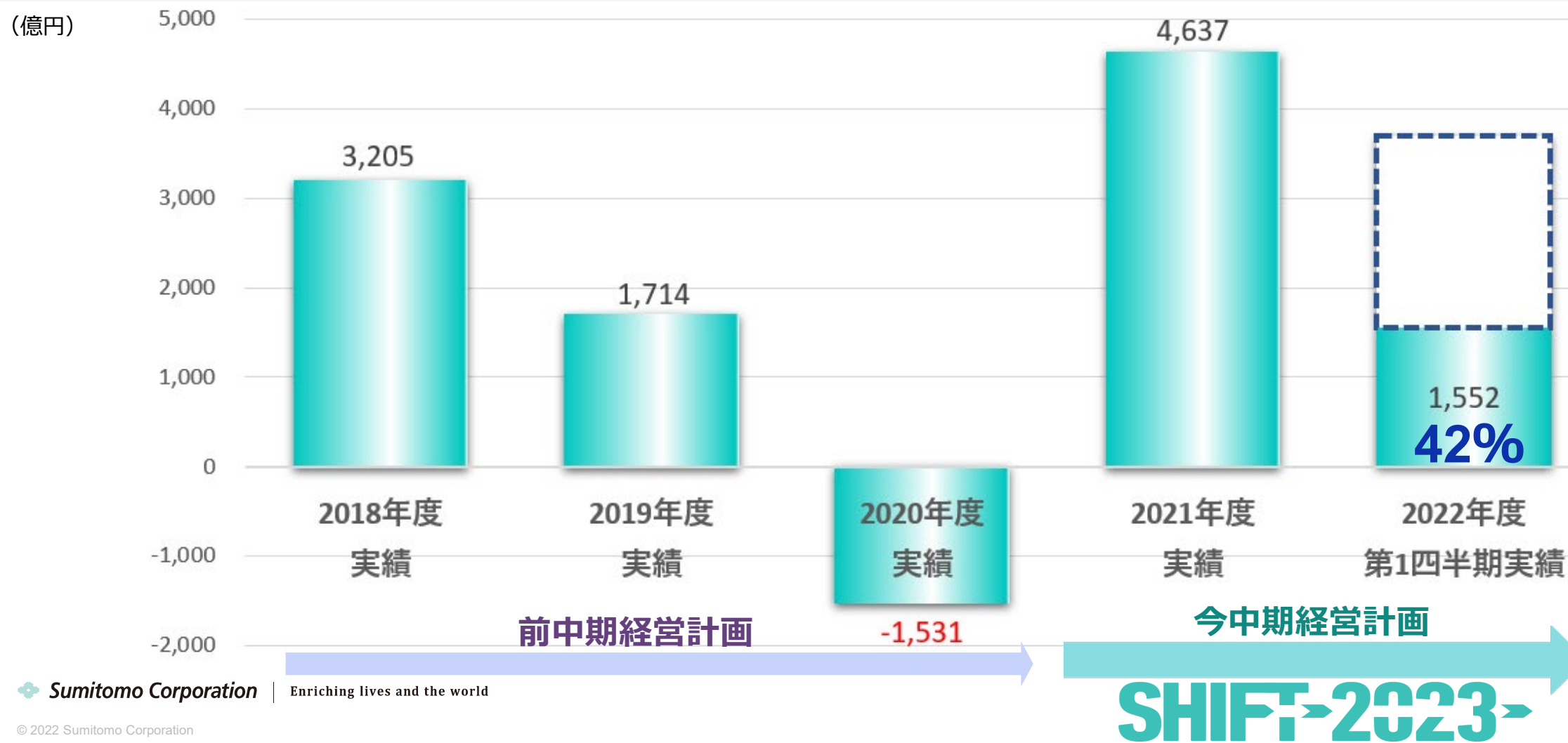
- グローバルな農業関連ビジネスの基盤を更に拡大に加え、地球への環境負荷低減と、単位面積あたりの収量増加により、持続可能な食糧システムの実現を目指す。
- 以下 3 つの取り組み（「クリーンファーマーミング」、「スマートファーマーミング」、「次世代農業生産」）を推進中。

領域	社会課題	狙い
クリーンファーマーミング	気候変動緩和	温室効果ガス削減型の畜産/酪農・農業技術への投資、社会実装（販売）等
スマートファーマーミング	地域経済・社会の発展	営農データ分析、小規模農家支援型事業等
次世代農業生産	循環経済・生活水準の向上	食物残渣を活用した新たな油脂・プロテインの開発等

5. 業績及び配当予想

業績（当期純利益）について

- 2022年度第1四半期実績については、期初予算に比して42%進捗。
- 外部環境の先行きもふまえ、第2四半期決算に向けて通期見通しを精査。



株主還元方針の見直し及び2022年度の年間配当金予想額

2022年度 以降の株主 還元方針

- 基本方針は従来同様
(長期安定配当・中長期的な利益成長による配当額増加)
- DOE(※)3.5~4.5%の範囲内で連結配当性向30%を目安に、
基礎的な収益力やキャッシュ・フローの状況等を勘案の上、年間配当額を決定
- 当期利益実績の30%が上記範囲を超過した場合には、超過部分に対する配当
あるいは自己株式取得を柔軟かつ機動的に実施

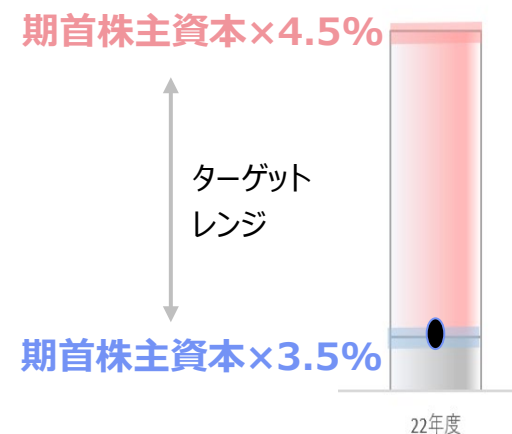
(※) DOE (Dividend on equity ratio) = 年間配当総額 ÷ 株主資本

2022年度 配当 (2022年5月 時点予想)

- DOE3.5%~4.5%のターゲットレンジを計算
(期初株主資本 約3.2兆円 × 3.5% or 4.5% ÷ 約12.5億株)
- 期初予想3,700億円から連結配当性向30%を計算
(業績予想 3,700億円 × 30% ÷ 約12.5億株)

上記計算数値に対して、株主還元方針を適用

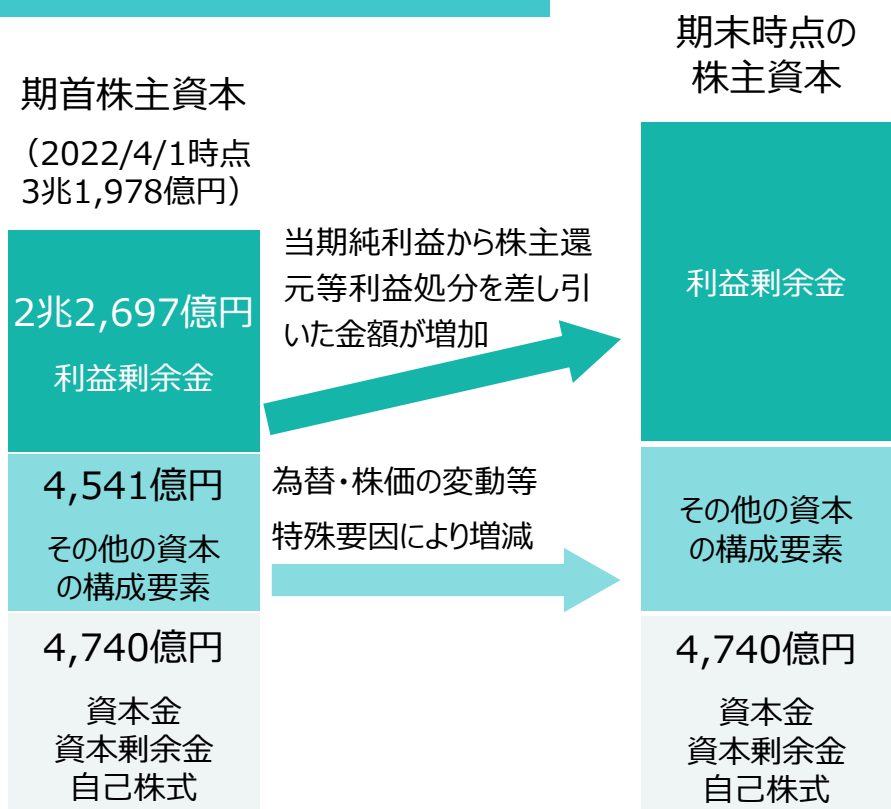
1株当たりの年間配当金：90円（中間45円、期末45円）



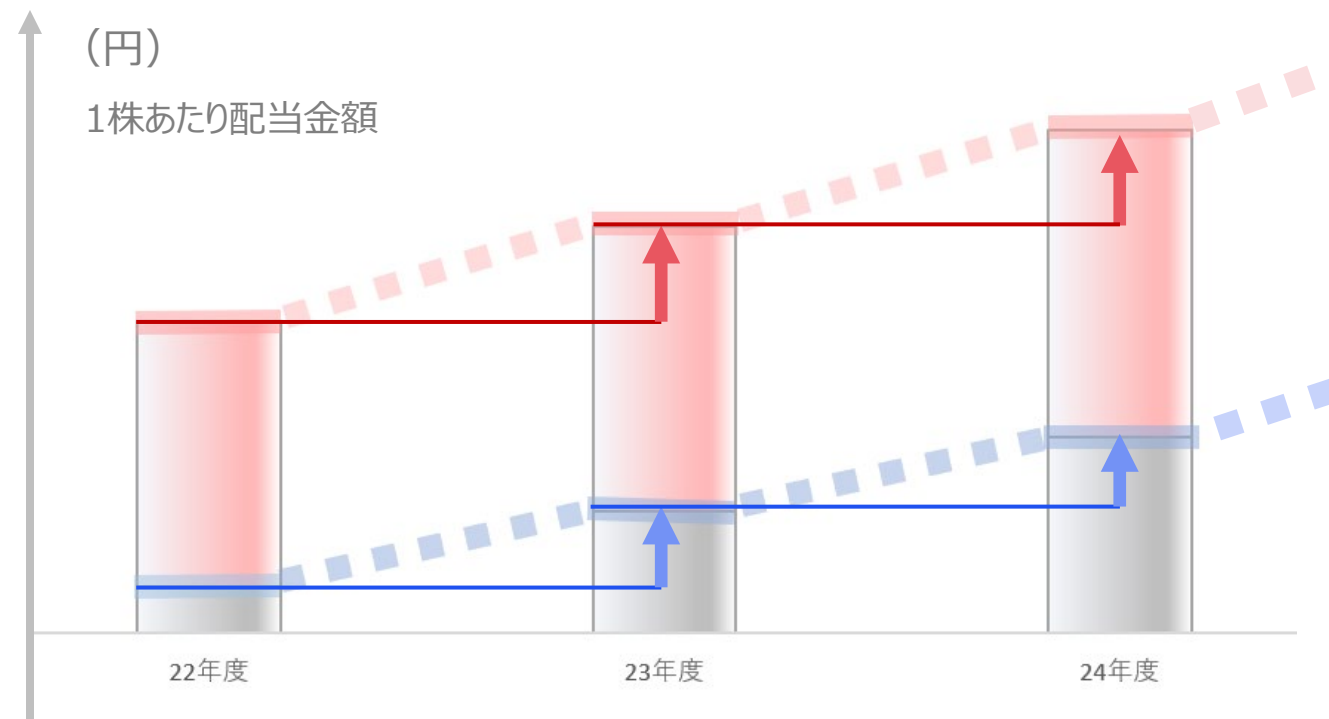
ターゲットレンジの推移イメージ

- 企業の成長（＝株主資本の増加）と共に配当のターゲットレンジは上昇。
- 株主資本は、為替・株価変動等の影響は受けるが、利益が積み上がれば（赤字でなければ）基本的に毎期増加。
- 株主資本が増加することで、ターゲットレンジは切り上がっていく。

株主資本の主な変動要素



黒字年度が続く場合のターゲットレンジイメージ



質疑応答

(参考：当社の強み) 消費者関連ビジネス



映画事業



商業施設事業
(グランエミオ所沢)



住宅事業
(CLASSY HOUSE)



ドラッグストア事業
(Tomod's)



食品スーパー事業
(サミット)



ケーブルテレビ事業
(J:COM)



テレビ通販事業
(SHOP CHANNEL)



携帯電話販売事業
(T-GAIA)

6. 最後に

当社IR情報


住友商事
Enriching lives and the world
日本

[日本語](#)
[English](#)
[Select Region](#)

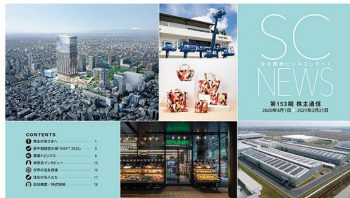
[企業情報](#)
[事業紹介](#)
[ニュース](#)
[サステナビリティ](#)
[投資家情報](#)
[採用情報](#)
[次の100年へ](#)

個人株主・投資家の皆様へ

個人株主・投資家の皆様に住友商事をより深くご理解いただくために、住友商事のビジネスや業績、今後の戦略などのお役に立つコンテンツをご紹介します。



① 個人投資家説明会



② 株主通信（SC NEWS）



③ 決算情報（決算短信、説明会動画など）



④ 株主総会

- [個人株主・投資家の皆様へ](#)
- [2022年度1Q決算情報](#)
- [統合報告書](#)
- [ESGコミュニケーションブック](#)
- [Investor Day](#)
- [事業部門説明会](#)

Enriching lives and the world